

<b>科目名</b> 基礎看護学実習 I	<b>授業担当者</b> 中川 郁子	<b>所属</b> 中通高等看護学院
<b>開講時期</b> : 中期	<b>単位数</b> : 1 単位	<b>時間数</b> : 40 時間
<b>授業の目的</b> 対象を多角的に観察し、対象の個性に応じたコミュニケーションを通じて、ニーズを把握できる。		
<b>授業の概要</b> 本実習では、看護の対象とその療養環境について学ぶ。また、病棟で働く看護師とともに患者のベッドサイドに行き、どのように看護しているのか看護の実際を見て学ぶことにより、看護の仕事を具体的に知ることができる。また、学生 1 名で患者 1 名を受持ち、関係作りの基本である会話の導入及び発展のさせ方や、対象に応じた接し方を学ぶ。患者とのコミュニケーションやアセスメント、電子カルテで得た情報から、患者を理解し、基本的ニーズが充足されているかを考え、看護援助を行う。安全、安楽、患者の反応からより良い看護援助を検討し評価する。実習で得られた気づき・学びから、自己の課題を把握し、看護への探求心を高める。		
<b>受講上の注意・事前学習の内容</b> 実習要綱及びガイダンス資料を確認し、実習目的及び内容に関してイメージできていることが望ましい。また、提示された事前学習課題や実習ガイダンス資料に基づき事前自己学習・技術練習をし、実習要綱等必要な資料は印刷して事前に準備すること。		
<b>授業計画</b> 1. 日程・実習場所は、ガイダンスに準じる。 2. 患者 1 名を学生 1 名で受け持ち、対象の個性に応じたコミュニケーションを通じてニーズを把握し、用紙 1～3 に整理する。 3. 日常生活行動の自立の程度を把握し、援助の必要性を導き出し、対象の自立に向けた看護援助を展開する。 4. 1 日の実習内容と学びはカンファレンスで交流した後、用紙 4～6 に整理する。実施した結果について、安全・安楽・自立の視点から、より良い援助を検討し評価する。また、実習終了カンファレンスで看護についての学びや自己の課題を交流する。		
<b>テキスト</b> 系統看護学講座 専門 看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門 基礎看護技術 I 医学書院 系統看護学講座 専門 基礎看護技術 II 医学書院 ブックライブラリー 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 ブックライブラリー 根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント 医学書院		
<b>参考書・指定図書</b> 看護がみえる vol.1 基礎看護技術 第 1 版 メディックメディア 看護がみえる vol.2 臨床看護技術 第 1 版 メディックメディア 看護がみえる vol.3 フィジカルアセスメント 第 1 版 メディックメディア		
<b>評価の方法</b> 実習評価表に基づいて評価する。		

\*この科目は実務経験のある教員による科目となります